

議 事 録

| | | | |
|-------------------------|---|-------------------------------------|--|
| 会議名 | 令和5年度第1回寒川町自殺対策計画推進協議会 | | |
| 開催日時 | 令和5年8月1日(火) 午後2時～3時 | | |
| 開催場所 | 本庁舎3階 議会第1、2会議室 | | |
| 出席者名、 欠席者名及び 傍聴者数 | <p><協議会> 出席者：桑原委員、伊吹委員、佐藤委員、小西委員、三留委員、大野委員、野田委員、守村委員、稲葉委員 欠席者：菅原委員、森井委員、下川委員、富樫委員</p> <p><連絡会> 出席者：菊地町民部長、宮崎子育て支援課長、秋葉高齢介護課副主幹、大平産業振興課長、高橋教育政策課長、黄木学校教育課長 欠席者：原健康づくり課長</p> <p>事務局：菊地町民部長、尾畑町民窓口課長、三留町民窓口課副主幹 入江町民窓口課主事補</p> <p>傍聴者：なし</p> | | |
| 議題 | <p>(1) 令和4年度 寒川町自殺対策事業実施結果について</p> <p>(2) 次期計画（令和7年度～令和10年度）策定にむけたアンケートの実施について</p> <p>(3) その他</p> | | |
| 決定事項 | <p>・議事録承認委員は、輪番制。 今回は、桑原委員及び伊吹委員が務めることを確認。</p> | | |
| 公開又は 非公開の別 | 公開 | 非公開の場合 その理由（一部 非公開の場合を 含む） | |
| 議事の経過 | <p>1 開会 尾畑町民窓口課長</p> <p>2 委嘱状交付</p> <p>3 あいさつ 畑村副町長</p> | | |

| | |
|--|--|
| | <p>4 自己紹介</p> <p>5 会長・副会長の選出 稲葉委員を会長に、大野委員を副会長に選出。</p> <p>6 議事録承認委員の指名 承認委員は輪番制。今回の承認委員は、桑原委員及び伊吹委員が務めることに決定する。</p> <p>7 議題 (1) 令和4年度 寒川町自殺対策事業実施結果について、事務局より説明。</p> <p>【稲葉会長】 それでは、皆様から御質問、御意見をいただきたいと思います。桑原先生、お願いいたします。</p> <p>【桑原委員】 資料5についてですが、今事務局から御説明があったように「他の基本施策」や「重点施策」はきちんと取り組まれていて、すばらしいと思っております。</p> <p>ただ、広域行政推進事業の企画政策課の令和4年度の実施状況に関する担当課評価が、「広域的に対応すべき課題が明確になっていないため、事業構築ができていない」という記載があります。それからもう1点、6番目の住民活動促進事業のところでも、「自殺対策を目的としたボランティア団体は、把握している限り町内にはありません」とあります。</p> <p>まず、一つ目の企画政策課の課題に関しては、やはり自殺対策は寒川町だけでできるものではないため、他の市町村、県あるいは国との連携ということが必要になってくると思います。例えば自死遺族支援などは、既に県や広域市町村との連携で取り組まれています。その他にも救急で搬送された自殺未遂者の地域支援などは、やはり広域連携での取り組みが必要だと思います。具体的には、寒川町民の方が自殺企図で救急医療を利用して自宅に戻ったとき、町としてどういう支援、フォローができるのかが課題となります。その際には、茅ヶ崎市や藤沢市など近隣自治体との情報交換などが必要になると思いますので、関係自治体の事務局との相互連携についてもお考えいただきながら、ぜひ未遂者支援施策の事業構築についても取り組んでいただけるとありがたいなと思いました。</p> <p>それから、二つ目の自殺対策の住民活動促進事業についてです</p> |
|--|--|

が、様々な地域のボランティア団体が、既に自殺対策に特化した取り組みを展開しているということはもちろんないですよ。しかし、例えば、地域には食生活の改善団体などの様々なボランティア団体が既にあるかと思えます。そして、いずれの団体も地域活動への展開については意識が高く、そうした日々の活動の中でゲートキーパーとしての重要な役割をとっていただける可能性があります。というわけで、ぜひこうした既存のボランティア団体の方々を対象としたゲートキーパー養成研修を企画し、地域支援ネットワークに参画していただけるよう協力要請をすることについても、少し御検討いただければなと思えます。以上になります。

【稲葉会長】 ありがとうございます。今の御質問に対して、事務局はいかがですか。

【事務局】 貴重な御意見をいただきまして、ありがとうございます。こちらは担当課の方と調整したいと思いますので、よろしくお願いたします。

【稲葉会長】 ありがとうございます。私もこの計画ができたときに、それぞれの事業をやっていて、これで自殺が防げるのだろうかという思いがありました。やはり、全ての課長さんに提出していただいている取り組みや事業が、必ずしも自殺予防に向けてやっているというわけではないですよ。その辺も、佐藤委員は地域包括支援センターが高齢者の相談に乗っている中で、どれだけ自殺のことを考えながら対応されているかという、さほどそういうことではないのかなと思えます。ですが、桑原先生が言われたように、最終的には自殺予防につながっているという視点がとても大事なのかなというのを、この委員会で先生などから教えていただいて感じておりますので、何か自殺予防に役立ったというのが見えたらとても良い報告がいただけたなと思えました。

それでは、小西委員お願いいたします。

【小西委員】 資料4、自殺対策計画の重点施策の中に特に出ているのですが、生きがいつくりの居場所であるシニアクラブなどの会員が減少しているのは、新型コロナウイルスで事業やイベントができなくなっているということもあるかと思えますが、このまま活動がしぼんでしまうのは寂しいなと感じております。

結局、お一人で住まれている高齢者の方というのは、話し相手や楽しみを持つことで全然違ってきます。例えば、私たちは見回りを定期的に行っています。その時にお会いできれば、安否確認ができたということで安心なのですが、特に男性の方はイベントなどにお誘いしても、足が重いか面倒くさいというのがあります。そのような方たちに、行ってよかったというような具体的で、もっと活性化できるようなことを助言できればいいなと思っておりますが、何かお考えでしょうか。

【秋葉高齢介護課副主幹】 ありがとうございます。シニアクラブは少し人数が減っているところもでございます。定年延長でまだお仕事を続けたいという方もいらっしゃるため、なかなか会員数が増えないというのがあります。シニアクラブの認知度向上のために、今年の4月に町民センターで、日々の活動の発表の場としてシニアフェスタを開催いたしました。引き続き会員増加に向けて努めていきたいと思っております。

【小西委員】 よろしく願います。

【稲葉会長】 ありがとうございます。桑原先生から、広域的にというようなお話もありましたが、その辺りは何か動き等ございますでしょうか。寒川町だけでは、なかなか解決できない問題もあるということなど、何か御意見等ございますか。

【守村委員】 今、町で自殺計画の推進をさせていただいていると思いますが、もともと国の自殺総合対策大綱や県の自殺対策計画、各市町村の取り組みがあり、それを推進していくことで日本全体の自殺者が減っていくことを目指して、各自治体ごとに取り組みを進めていくことだと思えます。

寒川町もお亡くなりになる方の傾向がプロフィールで出ています。それを元に、全国の各地域の実情に応じた施策を打っていき、少しずつ効果が出てくることで時間をかけて自殺者数が減少していくことを目指していくということだと思えますので、寒川町でもそのように継続していければいいなと思っております。

【稲葉会長】 ありがとうございます。伊吹先生、コロナ後の傾向などについて、現場で見られて何か感じるところはございますか。

【伊吹委員】 特に高齢の方ですかね。人付き合いが減ってしまって、なかなかコロナ前に戻らないので孤独を感じられているようです。

【稲葉会長】 ありがとうございます。そうすると、先ほど小西委員が言われたように、外出することやレクリエーション、他の方とのふれあいというのが大切であるということがよく分かりました。どうもありがとうございました。

その他御意見ございますか。よろしいでしょうか。

それでは、議題の（２）令和７年度～令和１０年度の次期計画策定に向けたアンケートの実施について、事務局よりお願いいたします。

【事務局】 それでは、議題（２）を御説明いたします。

「支えあい、こころつながるまち さむかわ自殺対策計画」は、令和６年度までの計画でございます。アンケートは、令和６年度中に計画の策定作業を行うために、自殺対策に関する町民の皆様のお考えなどを把握し、今後の自殺対策の取組を進めていく際の参考とする目的で行い、前回同様インターネットによる実施となります。今回、資料として令和元年度に実施いたしましたアンケートを配付しております。アンケートの質問につきましては、回答結果の比較ができるように令和元年度のアンケートとほぼ同様にする予定でございます。このアンケートにつきまして、委員の皆様から御意見をいただければと思います。よろしく願いいたします。

【稲葉会長】 ありがとうございます。次期計画に向けて行うアンケートについて何か御意見はございますか。

それでは、小西委員お願いいたします。

【小西委員】 これは、パソコンや携帯によるアンケートでしょうか。

【事務局】 そうです。

【小西委員】 そういうのができない方に対しては、もう仕方がないのですよね。

【事務局】 そうですね。前回も同じ方法で実施いたしました。

【小西委員】 これは、令和元年度のアンケート用紙ということですよ。

【事務局】 はい。これが、インターネットの画面で見られるようになっております。寒川町のeマーケティングリサーチ制度というのがございまして、そこに登録されている方に対してアンケートを実施いたしました。

【小西委員】 そうすると、対象人数としてはどれくらいでしょうか。

【事務局】 令和元年度はeモニターの登録者は222名でしたが、現在は約500名となっております。紙でのアンケートを無作為に行うと、受け取った方は自殺という文字を見て驚かれるのではないかとということで、前回からeマーケティングリサーチ制度を利用したアンケートを行っております。

【小西委員】 令和元年度時点で222名ということは、寒川町の全体の人口からすると、登録している方は少ないですね。今回のアンケートの対象というのは町民の方、全体に向けてということですよ。

【事務局】 そうですね。町民の方で、eマーケティングに登録された方に向けて実施いたしました。

【小西委員】 令和元年度にアンケートを行ったとき、その結果得られた情報をどこかに生かしているということですよ。ただアンケートをとるだけでは意味がないですよ。

【事務局】 この計画の中に、参考資料として後方のページに掲載させていただいております。自由意見を記入いただくところがございますので、それも全て原文のまま掲載し、いただいた御意見を参考にしております。

【小西委員】 他の様々な部分でも、アンケートをとり、それを基に状況を把握して、施策や対策マニュアルなどに起用する部分が多いのですけれども、それが狭い範囲だとあまり意味がないのかなと思いました。多分、今後行う予定はあるかと思うのですけれども、ぜひ、もう少し広範囲で実施できるような方法を考えていただければいいのかなと感じました。

【事務局】 ありがとうございます。確かに、今回想定しているeマーケティングリサーチ制度は登録者数が少なく、あまり参考にならない部分もあるかもしれませんが、今後検討してまいります。よろしくをお願いします。

【稲葉会長】 その他、御意見いかがでしょうか。

【守村委員】 このアンケートの間6に、「今までに、あなたの周りで自殺をしてしまうのではないかと思われる人はいらっしゃいましたか」というのがありますが、これに「いた」とチェックした方などに対しては、このアンケートだけで終わってしまうというよりも、もし何か町の方に相談が必要であれば、こちらに相談をしてくださいといった相談窓口の紹介も一緒に記載しているとよろしいかなと思いました。

【事務局】 ありがとうございます。問12のところ、役場で実施しております相談機関等を選択する項目もありますが、これだと分かりにくいので、もう少し検討してまいります。どうもありがとうございます。

【稲葉会長】 ありがとうございます。そのほか、アンケート項目等、御意見いかがでございましょうか。
桑原先生、お願いいたします。

【桑原委員】 前回の計画の中にもこのアンケートの結果が入っておりまして、今回同じような項目で、前回と比較してどう変化があったのかということが1つ大きなポイントであると思ひますし、対象者をもう少し増やしたいところではあります。

あと、やはりこの3年間はコロナ禍の影響が相当大きく、新たに子供や若者、それから女性の方々の自殺に係る問題が色々出てきておりますよね。ですから、そのような潜在的な課題も拾い出せるような、長引くコロナ禍の中で新たに生じてきている要望として、どのようなことがあるかということも含めて、追加で項目を入れていただけるとありがたいなと思ひました。

【事務局】 貴重な御意見ありがとうございます。検討してまいります。

【稲葉会長】 ありがとうございます。そのほか、御質問いかがですか。よ

ろしいですか。

それでは、質疑についてはこの辺で終了といたします。

続きまして、議題（3）その他に移ります。皆様から何かございますでしょうか。

では、桑原先生お願いいたします。

【桑原委員】 度々失礼いたします。国の自殺対策については、昨年10月にコロナ禍を踏まえた自殺対策大綱の改定というのがなされたわけですが、その他にも今日までの間に、自殺対策に関連した施策が次々に打ち出されています。例えば、こども家庭庁ができるとか、孤独・孤立対策推進法が策定され、その担当室が新たに設けられるとか、更にはSDGsに関する取り組みなど、様々な自殺対策に関連する動きがあります。

自殺対策は、既に何度か申し上げたように、自殺予防から自殺対策を経て、全ての地域住民の「生きる力を育む支援」へと変化し、今日では「生きやすい地域づくり」を目指すことが自殺防止につながっていくとされるようになりました。

先ほど稲葉会長が言われたように、国としての自殺対策が開始された当初は、行政レベルでの取り組みで、果たして自殺者を減らすことができるのか、本当にこれでうまくいくのかということも懸念されましたが、実際に国ぐるみで行って見たら自殺者は見事に減少したわけです。

ということで、やはり地域住民の方一人ひとりが関心を持ってこの問題に取り組むということが非常に大切になります。そのためには、町として様々な自殺対策の取り組みを行っているということを、町民の方々に周知することも含めて、色々と工夫をしていただけると大変ありがたいなと思います。

寒川町の自殺対策の改定素案の作成はこれからの課題であると思います。いずれにしても、先般行われた国の自殺総合対策大綱の見直しや、孤独・孤立対策、あるいはこども家庭庁の創設、こどもの自殺対策緊急会議の開催について、もう既に資料が出ております。今後ますますそういった動きがあると思いますので、それも少し加味しながら、寒川町の新たな改訂案について素案づくりをしていただけるとありがたいなと思います。私からは以上です。

【稲葉会長】 ありがとうございます。事務局、いかがでしょうか。

| | |
|------|---|
| | <p>【事務局】 ありがとうございます。貴重な御意見だと思いますので、そういった計画などを加味して素案を作成していきたいと思ます。よろしくお願ひいたします。</p> <p>【稲葉会長】 ありがとうございます。そういったものに取り組みながら、次期計画ができたなら良いものにできるのではないかなと思ます。</p> <p>そのほか、その他の委員の皆様方から御意見、御質問はございますでしょうか。よろしいですか。事務局、ございますか。</p> <p>【事務局】 御審議ありがとうございます。それでは、1点御連絡させていただきます。次回の会議の開催時期は3月を予定しております。また、近くなりましたら皆様に日程調整をお願いしたいと思ますので、どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>【稲葉会長】 ありがとうございます。3月にアンケート結果が出るということでしょうか。また、そのとき計画案はできておりますか。</p> <p>【事務局】 おそらく、アンケート結果は出るかと思ますが、計画案はまだできていないかもしれません。</p> <p>【稲葉会長】 事務局から、その他の説明がありました。皆様から御質問はよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、予定されておりました本日の議題は以上となります。進行を事務局のほうにお返しいたします。</p> <p>【事務局】 稲葉会長、議事進行お疲れさまでした。ありがとうございます。</p> <p>皆様、本日はお忙しい中お集まりいただきまして、貴重な御意見もいただき感謝申し上げます。今後の本町の自殺対策計画の推進に御協力をお願いいたしまして、閉会とさせていただきます。ありがとうございます。</p> |
| 配付資料 | <p>資料1 寒川町自殺対策推進協議会委員名簿</p> <p>資料2 寒川町自殺対策計画推進協議会設置要綱</p> <p>資料3 寒川町自殺対策計画進捗確認シート（基本施策）</p> <p>資料4 寒川町自殺対策計画進捗確認シート（重点施策）</p> <p>資料5 寒川町生きる支援の関連施策一覧</p> |

